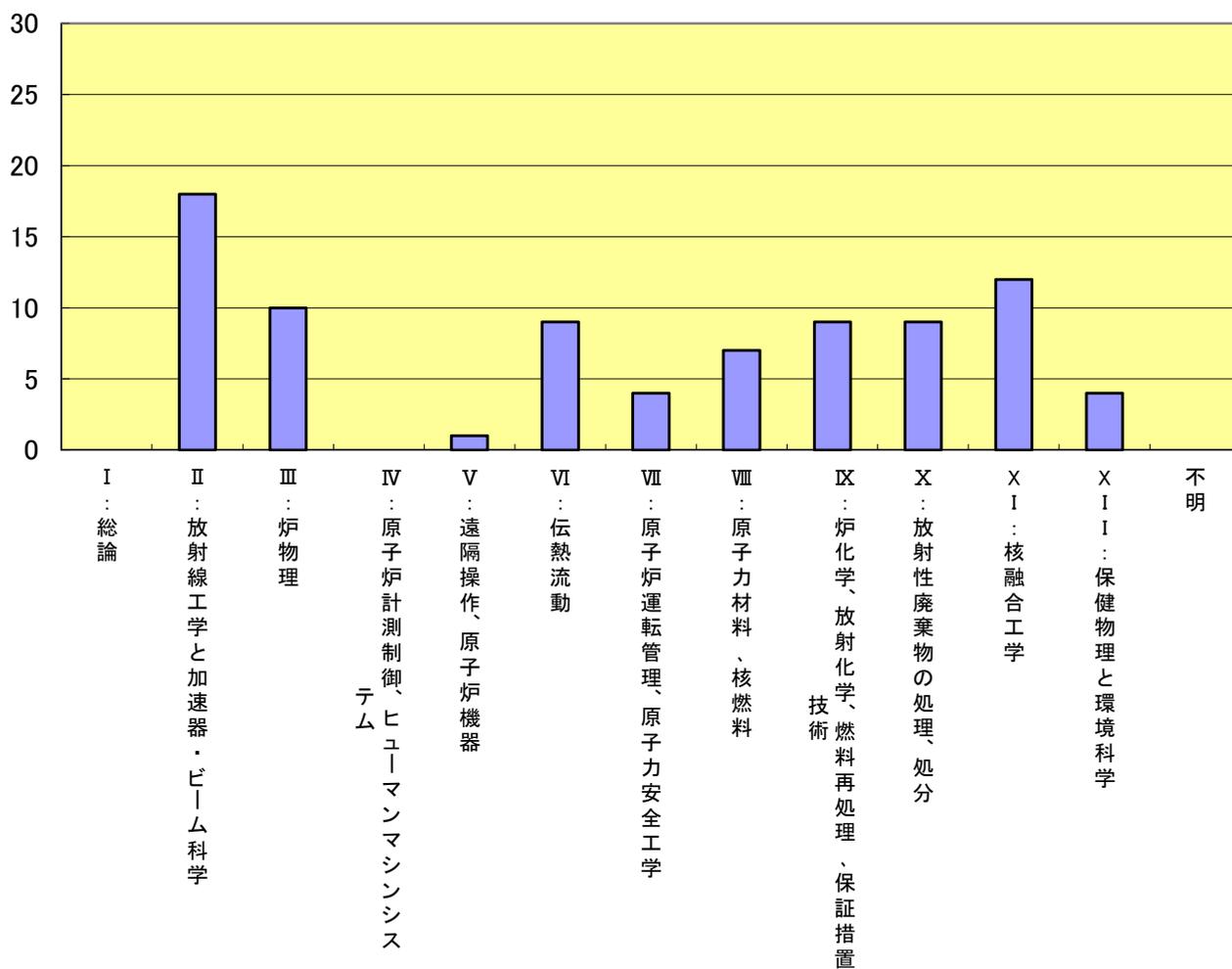
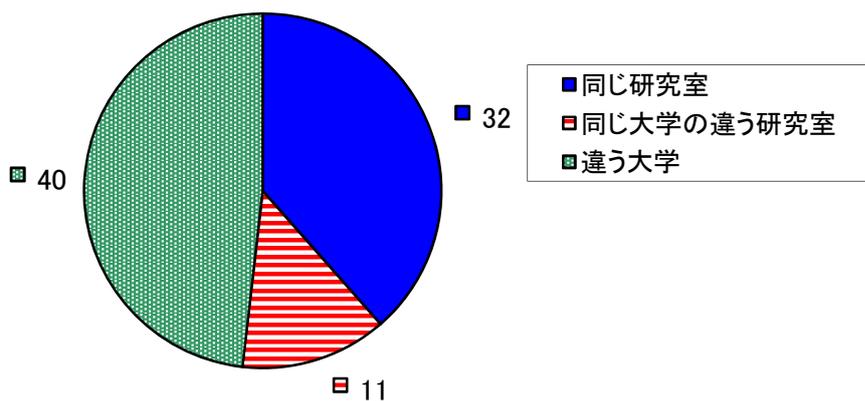


2016年度 KUCA大学院生実験
 実験前アンケート結果(参加者:83名)

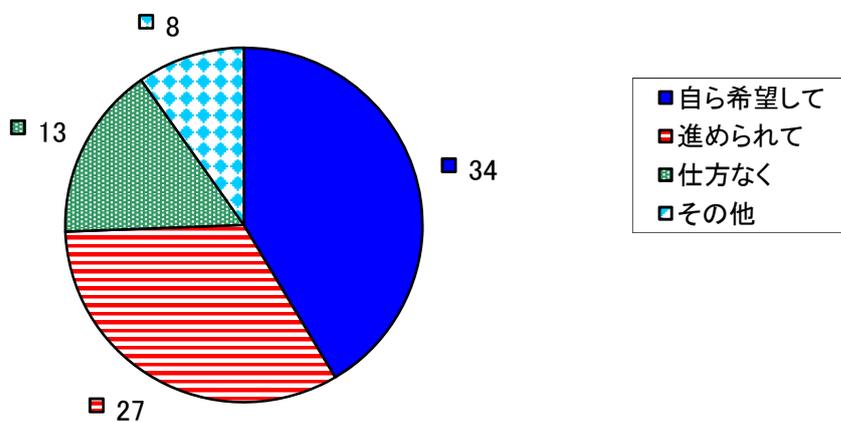
総集計 研究室(専門分野)



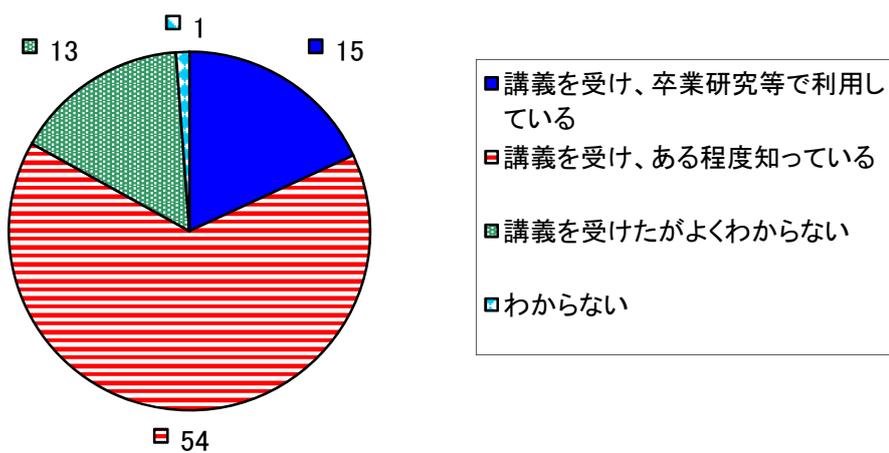
総集計:卒業学部研究室



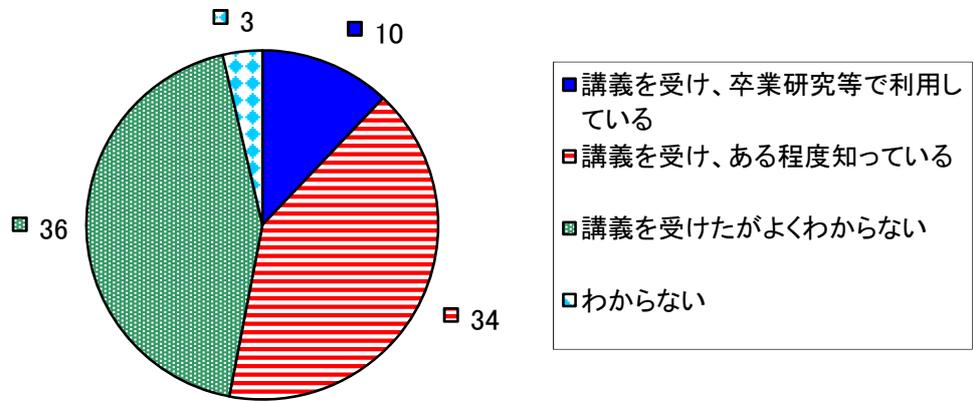
総集計:参加理由



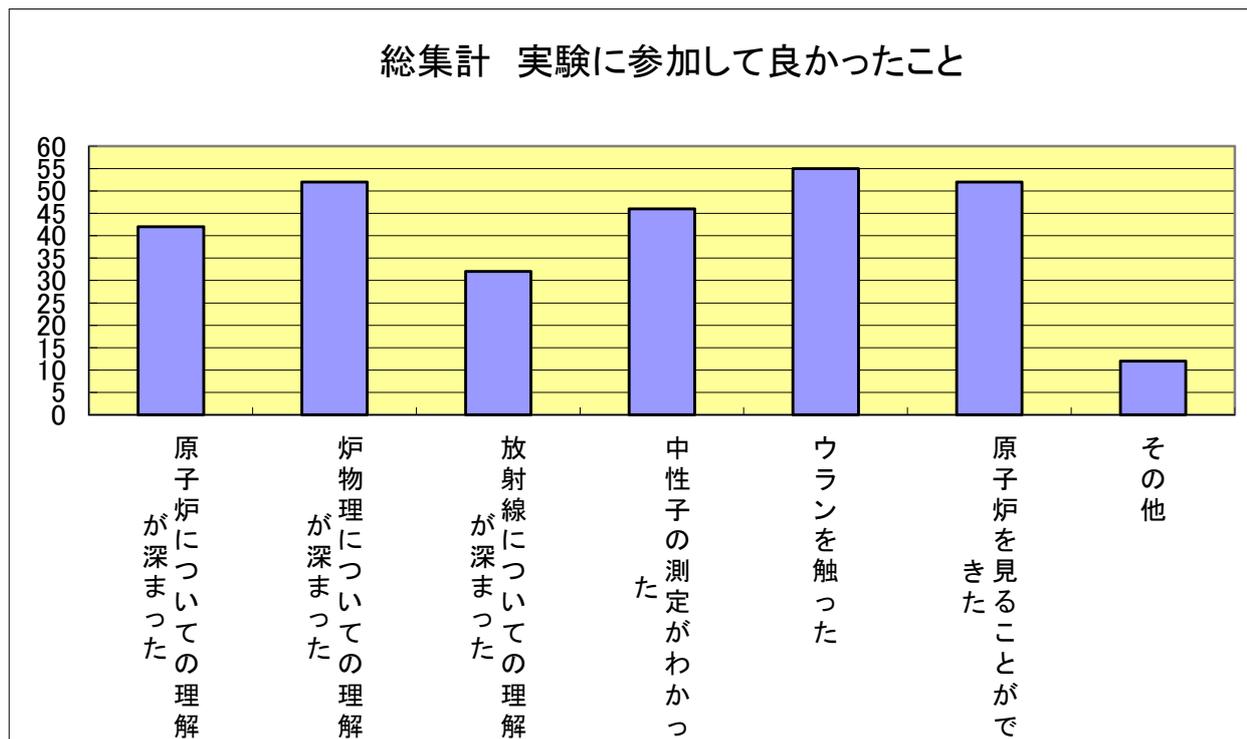
総集計:放射線について



総集計: 炉物理について



2016年度 KUCA大学院生実験
実験後アンケート結果(複数回答)



その他の項目：

炉物理は学部時代に講義で詳しく教わる機会があったが知識を実際に使おうとすると足りない部分が多いと実感した。ウランを実際に触る機会は今までなかったので非常にいい経験だった。特に90%以上の高濃縮ウランを持つなんてことが自分の人生にあるなんて思いもよらなかった。これから武勇伝としていろいろな人に自慢していきたい。

グループのメンバーや他の参加者とレポートや解析について語り合う機会が多かった。それは炉物理についてだけではなくエクセルを使ったデータの整理方法にも及んだ。かなり勉強させてもらったし、刺激を受けた。

制御室をよく見ることができた
統計学も学び直せたことです。

他大学の人と一緒に作業するということが新鮮でいい刺激になりました。

他大学と親交を深めることができたこと。

今回の議論や話し合いで同じ分野の学生や先生方との関係が促進した。

実際に制御室に入ることが出来、ボタンや地震感知計を見学できたことは、他の商業用発電炉でできなかったのがよかったです。

友達との絆を深めることができた。

友達との友情が深められた。

緊急用の措置がいくつもほどこされているということ。

構造が意外に外に露出しているとおどろきました。

原子炉中の中性子のふるまいを知ることができた。

放射線防護について、かなりシビアに取り扱われているのでおどろきました。

中性子は電荷を持たないが、検出することができることはおどろきました。

かなり重かったです。

一生見ることができないものなので、よい経験となりました。

普段見ることができない施設や装置をみることができたことが良かった。

人生で初めて原子炉を生で見れてよかったです。